



Title	相対微分幾何ニツイテ
Author(s)	松村, 宗治
Citation	全国紙上数学談話会. 1935, 31, p. 12-12
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/74018
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

96. 相對微分幾何 = ツイテ

松村 宗治 (台北帝大)

余ハ以前日本數學輯報第六卷 (1929) 第二十一頁 = テ卵形線ノ相對的幅ヲ定義シテツシ許リ考究シテ置イタ,

今其ノ論文 = 用ヒタルト同シ記号ヲ用キテ其幅 b ナルモノヲバ極メテ單純ニ

$$b = 2 \frac{p + \hat{p}}{q + \hat{q}}$$

= テ定義シテアノ論文 = 於ケルト同様ノ考究ヲナスコトが出来ル、勿論三次元 = テモ同様デアアル。

以上ハスデ = 余ハ以前 = 某教授 = 手紙ヲ話シテ置イタコトがあるが、コノデ又ソレヲクリカヘシタノデアアル。

次 = 任意ノ卵形線 C 及ビ $Eichkurve$ K = 互 = 平行ナル切線ヲ二ツ宛引キ四ツノ切線ヲ引ク。

而シテ各卵形線ノ切点距離ノ比デ平行切線ノ相對的切点距離ヲ定義セバ次ノ定理ヲ証明スルコトが出来ル。

平行切線ノ相對的切点距離ガ一定ナラバ定相對的幅ヲ有スルコト = ナリ 其逆モ成立ス。

コレハ余ガ以前東北數學雜誌第十八卷 (1920) 第二百八十頁 §12 デ述べシ小定理、一ツノ一般化デアアル。

而シテ其ノ証明ハ拙著論文ナル東北數學雜誌第二十六卷 (1926) p. 108 (II) = 於ケル論法ヲ用キテ容易ニ得ラルル。

其他幅 = 關スル卵形線卵形面ノ部分ヲ同様ニシテ一般化出来ルヲケデアアルコト論ヲマタス。